



「森」は、木材生産をはじめ、生物多様性の保全や災害防止、水源かん養など多くの機能を持ち、また二酸化炭素の吸収源として地球温暖化防止にも貢献しています。

富山市では、森林の持つ多面的な機能を発揮させるために、手入れが行き届かず荒れてしまった森林等の間伐を進めており、この間伐活動により増えたCO₂吸収量は、環境省のJ-VER制度*1による認証を受け、クレジット化されました。このクレジット化されたCO₂吸収量を売却し、それによって得られた資金を活用し、「豊かなとやまの森づくり」を目指しています。

県内初の取り組み

クレジット発行量
2,617t-CO₂

間伐促進型プロジェクト

実施場所：富山市内8箇所
実施年度：H19～23年度

富山市カーボン・オフセット 運営協議会

- 立山山麓森林組合
- 婦負森林組合
- 富山市

間伐の実施
⇒CO₂吸収量の増大



森づくりの促進

- 間伐の推進
- 林業機械の導入
- 路網整備

環境省
オフセット・クレジット
(J-VER)認証運営委員会

認証

環境貢献企業



環境貢献活動

- J-VER購入による森づくり活動の支援
- 自社のCO₂オフセット
- 市民・消費者の環境貢献活動の支援

*1 J-VERとは

環境省が創設した「オフセット・クレジット制度(J-VER制度)」に基づいて発行される排出権(クレジット)

国内における自主的な温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトから生じた排出削減・吸収量が排出権(クレジット)として認証され、カーボン・オフセット等の自主的な取組みに活用できる。

取り組みによる効果

- 地域で行う森づくりへの協力
- 企業の社会貢献の可視化
- 企業活動における排出量のオフセット
- 他社との環境意識の違いによる差別化
- 富山プロジェクトのシンボルマークの活用

とやまの森を守る活動

- クレジット売買資金を元に森林整備を一層促進できる
- 森林資源の充実化とともにCO₂の吸収が促進される
(1haあたりの年間吸収量 約10t)
- 生物多様性に対して配慮できる
- 森が豊かになることで、海も豊かになる

どれくらい排出してる？

- 排出量の算定：『活動量』×『排出係数』
 - 電気使用量 10,000kWh × 0.423kg/kWh ≒ 4.2t
 - ガソリン使用量 1,000ℓ × 2.32kg/ℓ ≒ 2.3t
 - 軽油使用量 1,000ℓ × 2.58kg/ℓ ≒ 2.6t
 - 家庭での年間排出量 約1,990kg/人
(1日あたり排出量 約6kg/人⇒スギの木1本が半年間に吸収するCO₂に相当)

取り組み案の提案について

- 社員通勤 20km/日 × 200日/年 ÷ 10km/ℓ × 2.32kg/ℓ × 10人 ≒ 10t/年
- 自社ビルの電気やガス等使用による排出量のオフセット
- 商品製造過程で発生する排出量のオフセット
- 商品購入者1日分のCO₂削減の支援 約6kg/点 × 1,000点 ≒ 6t
排出量については、最新のガイドラインによって算定します。

森のチカラ
富山プロジェクト
お問合せ先

富山市カーボン・オフセット運営協議会事務局
(富山市農林水産部森林政策課)
TEL 076-443-2019 FAX 076-443-2185
E-Mail sinrinseisaku@city.toyama.lg.jp